

1 英語英米文化学科 卒業要件

本学に4年以上在学し、履修方法に従って所定の単位を修得しなければなりません。概略を表にすると次のとおりとなります。13頁以降に各区分の履修方法が記載されていますので、よく読んで間違いのないように履修してください。

また、以下のことにも注意して計画的に単位を修得してください。

- ・2年次外国語クラスに進むためには、必要な科目と単位を修得しなければなりません。詳細は19頁に記載してあります。
- ・4年次の必修科目である「卒業論文」を履修するには、3年の在学期間を充足した上で、必要な科目と単位を修得しなければなりません。詳細は40頁に記載してあります。

[英語英米文化学科]

区分	修得すべき 単位数	内訳			
総合科目	20単位	6分野(A～F)からセクションを問わず最低2単位を修得し(計12単位)、かつ分野を問わずさらに8単位以上修得し、かつ分野を問わず実践セクションの科目を必ず1科目(1単位)以上含むこと。			
外国語科目	14単位	必修外国語(英語)		12単位	
		選択外国語Ⅰ(学科指定) ドイツ語、フランス語、スペイン語		2単位	
	(自由選択)	選択外国語Ⅱ(修得単位は総合科目の「分野を問わない8単位」に含めることができる) 英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国・朝鮮語		-	
専門科目	20単位	(指定された人文学部の他学科の専攻科目、他学部の専門科目などより選択) ※「学芸員課程関連科目」は、8単位まで共通専門科目に算入することができる ※「日本語ワークショップ」は、8単位まで共通専門科目に算入することができる			20単位
		専攻基礎科目 14単位	必修科目	英語英米文化基礎ゼミナール1	2単位
	英語英米文化基礎ゼミナール2			2単位	
				英語ワークショップ1	1単位
			英語ワークショップ2	1単位	
			コミュニケーション・ゼミナール1	2単位	
			コミュニケーション・ゼミナール2	2単位	
		選択科目(実習)			4単位
	70単位	必修科目	卒業論文	4単位	
卒業論文ゼミナール1			2単位		
卒業論文ゼミナール2		2単位			
選択科目(講義)		40単位	48単位		
①言語・言語教育	4単位以上				
②文学・芸術	4単位以上				
③歴史・社会・文化	4単位以上				
※[教職に関する概説科目]を除く					
		選択科目(ゼミナール)		8単位	
合計	124単位				

※ 以下の科目に関しては、同じ科目を重複して履修することができます。重複履修をした場合、2度目以降の修得単位も卒業要件に算入できます。ただし、「日本語ワークショップ」の合計修得単位数には上記の制限があります。

- ・共通専門科目の「GHゼミナール」「日本語ワークショップ」
- ・専攻基礎科目の選択科目(実習)
- ・専攻専門科目の選択科目(ゼミナール)

注意：表の合計124単位は最小限必要な単位数であり、これ以上の単位を余裕をもって履修することを勧めます。

1 ヨーロッパ文化学科 卒業要件

本学に4年以上在学し、履修方法に従って所定の単位を修得しなければなりません。概略を表にすると次のとおりとなります。53頁以降に各区分の履修方法が記載されていますので、よく読んで間違いのないように履修してください。

また、以下のことにも注意して計画的に単位を修得してください。

- ・2年次外国語クラスに進むためには、必要な科目と単位を修得しなければなりません。詳細は58、59頁に記載してあります。
- ・4年次の必修科目である「卒業論文」を履修するには、3年の在学期間を充足した上で、必要な科目と単位を修得しなければなりません。卒業論文ゼミナール登録届の提出も必要です。詳細は79頁に記載してあります。

〔ヨーロッパ文化学科〕

区分	修得すべき 単位数	内訳	
総合科目	20単位	6分野（A～F）すべてからセクションを問わず最低2単位を修得し（計12単位）、さらに分野を問わず8単位以上修得すること。ただし、実践セクションの科目を必ず1科目（1単位）以上含むこと。	
外国語科目	20単位	必修外国語（英語Ⅰ）	2単位
		選択外国語Ⅰ（学科指定） （1）ドイツ語、フランス語 （2）英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語	14単位 4単位
	（自由選択）	選択外国語Ⅱ（修得単位は総合科目の「分野を問わない8単位」に含めることができる） 英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国・朝鮮語	—
専門科目	20単位	（指定された人文学部の他学科の専攻科目、他学部の専門科目などから選択） ※「学芸員課程関連科目」は、8単位まで共通専門科目に算入することができる ※GSC（ドイツ語）基幹科目とGSC（フランス語）基幹科目は、合計6単位まで共通専門科目に算入することができる ※「日本語ワークショップ」は、8単位まで共通専門科目に算入することができる	
		専攻基礎科目 16単位	必修科目 ヨーロッパ文化入門講座 2単位 ヨーロッパ文化基礎ゼミナール1 2単位 ヨーロッパ文化基礎ゼミナール2 2単位 中級ゼミナール1 2単位 中級ゼミナール2 2単位 選択科目（実習） 6単位
	64単位	専攻専門科目 48単位	必修科目 卒業論文ゼミナール1 2単位 卒業論文ゼミナール2 2単位 卒業論文 4単位
			選択科目 専門ゼミナール1、専門ゼミナール2、卒業論文準備ゼミナール 10単位 講義①～④ 30単位 ※⑤と⑥の単位は算入できません
合計	124単位		

※ 共通専門科目のうち、「GHゼミナール」、「日本語ワークショップ」、GSC（ドイツ語）基幹科目、GSC（フランス語）基幹科目に関しては、同じ科目を重複して履修することができます。この場合、2度目以降の修得単位も卒業に必要な単位数に算入できます。ただし、「GHゼミナール」を除く各科目の合計修得単位数には上記の制限があります。

【注意】

表中の単位数は最小限必要な単位数であり、余裕をもってより多くの科目を履修することを勧めます。

1 日本・東アジア文化学科 卒業要件

本学に4年以上在学し、履修方法に従って所定の単位を修得しなければなりません。概略を表にすると次のとおりとなります。102頁以降に各区分の履修方法が記載されていますので、よく読んで間違いのないように履修してください。また、以下のことにも注意して計画的に単位を修得してください。

- ・2年次外国語クラスに進むためには、必要な科目と単位を修得しなければなりません。詳細は109頁に記載してあります。
- ・4年次の必修科目である「卒業論文」を履修するには、3年の在学期間を充足した上で、必要な科目と単位を修得しなければなりません。詳細は130頁に記載してあります。

〔日本・東アジア文化学科〕

区分	修得すべき 単位数	内 訳				
総合科目	20 単位	6分野（A～F）からセクションを問わず最低2単位を修得し（計12単位）、かつ分野を問わずさらに8単位以上修得し、かつ分野を問わず実践セクションの科目を必ず1科目（1単位）以上含むこと。				
外国語科目	12 単位	必修外国語（1）（2）（英語）		4 単位		
		選択外国語Ⅰ（1）（2）（学科指定） （ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語、日本語）		8 単位		
	（自由選択）	選択外国語Ⅱ（修得単位は総合科目の「分野を問わない8単位」に含めることができる） 英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国・朝鮮語、日本語		—		
専門科目	24 単位	（指定された人文学部の他学科の専攻科目、他学部の専門科目などより選択） ※「学芸員課程関連科目」は、8単位まで共通専門科目に算入することができる ※「人文学部共同プロジェクト〔中国語〕」と「人文学部共同プロジェクト〔韓国・朝鮮語〕」は、合計16単位まで共通専門科目に算入することができる ※「日本語ワークショップ」は、8単位まで共通専門科目に算入することができる		24 単位		
		専攻基礎	（必修科目） 日本・東アジア文化基礎ゼミナール1 日本・東アジア文化基礎ゼミナール2		2 単位 2 単位	
			専攻専門科目	（必修科目） 卒業論文 卒業論文ゼミナール1 卒業論文ゼミナール2		4 単位 2 単位 2 単位
				（選択科目） 専門科目（講義） ①「ことば・文学・思想」4単位以上 ②「芸術・身体・環境」4単位以上 ③「歴史・民俗・宗教」4単位以上 ——3分野すべてを履修 ※⑤「Global Studies」は8単位まで、⑥「教職に関する概説科目」は4単位まで算入することができる		36 単位以上
専攻科目	68 単位	（選択科目） 専門科目（演習・実習） ①「ことば・文学・思想」 ②「芸術・身体・環境」 ③「歴史・民俗・宗教」 ④「スキル科目」（原則「卒業論文準備ゼミナール1・2」を3年次に履修すること） ——うち3分野以上（各分野4単位以上） ※⑤「Global Studies」は4単位まで算入することができる		56 単位		
合 計	124 単位					

※ 共通専門科目の「GHゼミナール」「日本語ワークショップ」および専攻科目の専門科目（演習・実習）に関しては、「卒業論文準備ゼミナール1」「卒業論文準備ゼミナール2」を除き、同じ科目を重複して履修することができます。重複履修をした場合、2度目以降の修得単位も卒業要件に算入できます。ただし、「日本語ワークショップ」の合計修得単位数には上記の制限があります。

【注意】

表の合計124単位は最小限必要な単位数であり、これ以上の単位を余裕をもって履修することを勧めます。

1 グローバル・スタディーズコース（英語）卒業要件

本学に4年以上在学し、履修方法に従って所定の単位を修得しなければなりません。概略を表にすると次のとおりとなります。147頁以降に科目区分ごとの履修方法が記載されていますので、よく読んで計画的に履修してください。

なお、4年次の必修科目である「Capstone Project」を履修するには、3年の在学期間を満たした上で、必要な科目と単位を修得していなければなりません。詳細は184頁に記載してありますので、注意して学修計画をたててください。

[3 学科共通]

区分	修得すべき単位数	内 訳	
総合科目	20 単位 (うち、英語でおこなわれる授業を 12 単位以上)	6 分野 (A～F) からセクションを問わず最低 2 単位を修得し (計 12 単位)、かつ分野を問わずさらに 8 単位以上修得し、かつ分野を問わず実践セクションの科目を必ず 1 科目 (1 単位) 以上含むこと	
外国語科目	14 単位	必修外国語 (英語) 1 年次 6 単位 2 年次 6 単位	12 単位
		選択外国語 (自由選択) ※ 選択外国語は 2 単位を超えて修得した場合、総合科目として 8 単位まで算入される	2 単位
共通専門科目	20 単位 (うち、英語でおこなわれる授業を 8 単位以上)	※ 「学芸員課程関連科目」は、8 単位まで共通専門科目に算入することができる ※ 「日本語ワークショップ」は、8 単位まで共通専門科目に算入することができる	
専攻基礎科目	14 単位	GSC 1st-Year Seminar 1	2 単位
		GSC 1st-Year Seminar 2	2 単位
		Language Workshop (GSC) 1	1 単位
		Language Workshop (GSC) 2	1 単位
		Communication Seminar (GSC) 1	2 単位
		Communication Seminar (GSC) 2	2 単位
		選択科目 (実習)	4 単位
専攻専門科目	56 単位 (うち、英語でおこなわれる授業を講義 24 単位以上、ゼミナール科目を 8 単位以上)	講義科目 (選択) ※ 「教職に関する概説科目」を除く ※ 所属する学科の専攻専門科目は 16 単位まで卒業に必要な単位として算入可能 (ただし、協定留学で単位認定された場合は 16 単位を超えて認められることがある)	40 単位
		ゼミナール科目 (選択)	8 単位
		Capstone Project Seminar 1	2 単位
		Capstone Project Seminar 2	2 単位
		Capstone Project	4 単位
	124 単位		

※ 共通専門科目の GSC 共通専門ゼミナール分野の科目と「GH ゼミナール」「日本語ワークショップ」、専攻専門科目の「GSC Seminar (Global Relations) 1・2」「GSC Seminar (Global Literature) 1・2」「GSC Seminar (Global Japanese Studies) 1・2」に関しては、同じ科目を重複して履修することができます。重複履修をした場合、2 度目以降の修得単位も卒業要件に算入できます。ただし、「日本語ワークショップ」の合計修得単位数には上記の制限があります。

注意：表の合計 124 単位は最小限必要な単位数であり、これ以上の単位を余裕をもって履修することを勧めます。

〈履修上の注意〉

- 履修に際しては、卒業要件表に示された科目区分ごとに定められたルールに従って、所定の単位を修得する必要があります。その詳細は、それぞれ科目区分ごとの説明を参照してください。
- 英語力の向上を重視する当コースの教育方針に基づき、英語による授業の積極的な履修を求めています。英語でおこなわれる授業を、総合科目については 12 単位以上、共通専門科目については 8 単位以上、専攻専門科目の講義科目については 24 単位以上、ゼミナール科目については 8 単位以上修得しなければなりません。
- 留学時に修得した単位は、学修内容を精査したうえで、武蔵大学の単位として認定することができます。
- 留学時の修得単位を武蔵大学の単位として認定する際には、留学先で学んだ内容や学習量を勘案して、対応する科目を選びます。そこで選ばれた科目は「英語でおこなわれる授業一覧」に記載されていない科目であっても、「英語でおこなわれる科目」として算入することができます。